

2024年度事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

NPO法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、入居者の方が安心して自分らしく地域で暮らせるよう、日常生活の中で様々な相談・支援を行い、主体的に生活できるようにサポートしてきました。昨年度は、9月にサテライト型グループホームを2部屋増設しました。受け入れ可能人数が増えたことで、長期入院の方の退院促進に繋げる所存です。

・2024年度 どんまいハウス実績 (2025年3月末 現在)
【 見学者数：8名 / 新規入居者数：4名 (病院から4名) 】
【 退所者数：2名 / 入居者数：44名 】

- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2025年3月末現在で定員20名に対し登録者数33名、平均通所者数17.7名でした。2024年度は、一般就労に向けて準備を進めた利用者もいましたが、実際の就職には至りませんでした。しかし、面談や職業準備訓練を通じて、本人の希望や課題を共有し、今後のステップアップに向けた土台づくりを行うことができました。作業面では、年間工賃の大きな増加にはつながりませんでしたが、様々な内職作業や施設外就労に継続して取り組み、利用者が無理なく参加できる作業環境の維持に努めてきました。利用者の高齢化も進むなか、それぞれの体調やペースに配慮しながら、確実で丁寧な作業の提供を心がけました。また、新型コロナウイルスの影響で長らく中止となっていたバザーなどの地域交流活動にも、感染対策を行いつつ、少しずつ参加を再開しています。地域とのつながりを再構築しながら、今後も利用者の社会参加の機会を広げていけるよう取り組んでいきます。

・2024年度 どんまいクラブ実績 (2025年3月末 現在)
【 見学者数：7名 / 新規利用者数：4名 / 退所者数：2名 / 登録者数：33名 】

- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、2025年3月末現在で、登録者数28名、2024年度平均通所者数は18.5名でした。弁当事業では、物価高騰もあり注文数の減少も心配されましたが平均140食を協力して作りしました。5月には業務改善助成金や日本財団助成金により、調理場の改装や新たな機械を導入し作業しやすくなりました。弁当づくりに加えグループホームの夕食づくりも7月から開始し食数も増えましたがみんなで協力して作業しています。レディ薬局での施設外就労も継続し、事業所以外で就労に向けた訓練もおこないました。また、1名の方が就職され現在も働かれています。事業所のことを知ってもらうため、見学会の実施や相談支援事業所や行政窓口等にチラシ配りなど挨拶回りも行いました。

・2024年度 ゆっくりクラブ実績 (2025年3月末 現在)
【 見学者数：9名 / 新規利用者数：3名 / 退所者数：6名 / 登録者数：28名 】

- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、2025年3月末現在で定員20名に対し登録者数37名、平均通所者数は18.6名でした。印刷事業では、行政機関からの印刷依頼が相見積もりとなり、受注単価、年間売上が減少しましたが、請求書のデータ入力作業や文字入力作業を新たに開始し、パソコンに興味がある利用者、パソコンが得意な利用者の作業の幅が広がりました。季節に合わせた行事を定期開催にし、利用者同士、利用者と職員の交流する機会を増やし、フラットで気軽に話せる関係づくりに努めました。関係機関との関わりが広がるなかで新規利用の相談件数が増え、見学者数、体験者数、新規入所者数が大きく増加しました。

・2024年度 いんさつの咲々屋実績 (2025年3月末 現在)
【 見学者数：18名 / 新規利用者数：10名 / 退所者数：4名 / 登録者数：37名 】

- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぼは、2024 年度、地域移行支援事業を利用して精神科病院から退院された方 1 名、グループホームから単身生活を始められた方 1 名、計 2 名の支援を行ってきました。定期的な訪問相談や本人の希望で必要に応じて同行支援などを行い、地域での生活をする上で生じる様々な状況にご自身で対応できる力を身につけられるよう支援をしてきました。1 名は期間満了に伴う終了で安心して単身生活へ移行する支援ができたのではと感じます。もう 1 名の方の再入院に伴い、現在登録者数は 0 名となっております。

・2024 年度 まいさぼ実績 (2025 年 3 月末 現在)
 【 新規登録者数：0 名 / 終了者数：2 名 / 登録者数：0 名 】

- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは 2025 年 3 月末現在、契約数は計画相談 112 名、地域移行相談 4 名、地域定着相談 6 名です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、医療機関の感染症対応が少しずつ緩和され、外出や体験利用など退院に向けた活動を行い、4 名の方が退院に繋がりました。地域定着では、緊急時の体制を整え、安心して地域で生活ができる支援を行いました。

・2024 年度 まいん実績 (2025 年 3 月末 現在)
 【 計画相談……新規契約者数：12 名 / 終了者数：19 名 / 登録者数：112 名 】
 【 地域移行……新規契約者数：3 名 / 終了者数：5 名 / 登録者数：4 名 】
 【 地域定着……新規契約者数：1 名 / 終了者数：0 名 / 登録者数：6 名 】

- ⑦ サロン事業では、一人暮らしに寂しさを感じている方や日中の活動先を探されている方に対してほっとできる居場所づくりを、また長期入院者の地域生活へのイメージづくりを目指し、さろんだぞうを実施いたしました。今年度は本町センター横に場所を移転し、毎月の開催回数を増やすことができました。法人内に限らず多くの方の居場所になればと思います。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	32 名	精神障がい者 47 名
	就労継続支援 B 型事業所 どんまいクラブ	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	6 名	精神障がい者 35 名
	就労継続支援 B 型事業所 ゆっくりクラブ	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	7 名	精神障がい者 34 名
	就労継続支援 B 型事業所 いんさつの咲々屋	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	6 名	精神障がい者 41 名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	3 名	松山圏域にお住 いの精神障がい 者
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	3 名	精神障がい者 120 名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	サロン事業 さろんだぞう	4 月 1 日 ～3 月 31 日	松山市及び 周辺市町村	53 名	松山圏域にお住 いの精神障がい 者

第2号議案 2024年度NPO法人どんまい活動報告書

月	日	活動	参加者・講師等
4 月	17 日	職員研修（法人理念について）	講師：谷本理事長
	19 日	松山市地域移行検討会	綾戸・濱石
5 月	15 日	松山市人権教育推進委員会	濱石
	18 日	NPO法人どんまい 社員総会	社員・職員・利用者・関係機関
	20 日	自殺対策推進連絡会	濱石
	22 日	職員研修（職場のメンタルヘルスについて）	講師：大西氏
	31 日	聖カタリナ大学看護科 講義	講師：濱石
6 月	14 日	松山看護学校 実習会議	濱石
	26 日	職員研修（感染症BCP・防災BCPについて）	講師：防災委員・感染症対策委員
7 月	8 日	松山市e-スポーツ振興会	関係者
	19 日	松山市人権教育推進委員会	濱石
	21 日	人権教育委員会 会議	濱石
	26 日	NPO法人どんまい 歓送迎会	理事・どんまい職員
	30 日	職員研修（地域移行支援について）	講師：濱石
8 月	8 日	松山市地域移行支援協議会	濱石
	19 日	松山市人権教育推進委員会	濱石
	24 日	職員研修（法人のあゆみ・交通安全研修）	講師：谷本理事長・山崎（正）
9 月	2 日	生きる応援街頭ティッシュ配り	濱石
	25 日	職員研修（医療観察制度について）	講師：松山保護観察所
10 月	2 日	自立支援協議会 防災部会	濱石
	21 日	ピアサポート養成研修（国研修21日～23日）	濱石・ピアサポーター
	30 日	職員研修（ピアサポート研修について）	講師：ピアマネージャ
	31 日	松山市地域移行検討会	綾戸・濱石
11 月	8 日	入院者訪問支援事業研修	濱石
	12 日	一般相談支援事業所向け研修 講義	濱石
	15 日	新居浜ピア交流会	ピアマネージャー・ピアサポーター
	27 日	職員研修（精神保健福祉士会全国大会伝達研修）	講師：松浦・米澤・吉野・山崎（正）
12 月	3 日	自立支援協議会 小部会	濱石
	6 日	自殺対策関係機関連絡会	濱石
	12 日	松山看護学校実習会議	濱石
	25 日	職員研修（心のサポーター指導者養成研修伝達研修）	講師：長野
1 月	10 日	松山看護学校講義	濱石・ピアサポーター長井
	28 日	精神科研修医施設見学	濱石
	29 日	職員研修（虐待防止研修伝達研修）	講師：柳原
2 月	3・4 日	ピアサポーター養成研修フォローアップ	濱石・梅木・ピアサポーター八塚
	5 日	松山市ピアサポーター交流会	
	15 日	NPO法人どんまい第8回家族会	職員・利用者・家族
	21 日	松山市人権教育推進委員会	濱石
	26 日	職員研修（サビ管・相談初任者研修伝達研修）	講師：柳原・綾戸
	27 日	松山市地域移行検討会（全体会）	綾戸・濱石
3 月	14 日	NPO法人どんまい 歓送迎会	どんまい職員
	16 日	河原福祉専門学校 施設説明会	濱石
	19 日	パワハラ委員会	パワハラ委員・社労士
	26 日	職員研修（支援の在り方について）	講師：濱石

■ 法人内定期開催

- ※ 運営委員会（毎月1回 /理事長・理事・管理者）
- ※ 事業所会議（毎月1回 /管理者）
- ※ スタッフ会議（毎月1回 /職員全員）
- ※ 合同カンファレンス（毎月1回～2回）
- ※ 虐待防止チーム会（2カ月毎）
- ※ 虐待防止委員会（6カ月毎）
- ※ ピアサロン（毎月1回）
- ※ さろんだぞう（月7回程度）
- ※ 感染症対策委員会（2カ月毎）

■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会（相談支援専門員・担当職員1名）
- ※ ピアマネジャー会（ピアマネジャー2名）

■ ピアサポート事業/サロン事業（別紙）

■ その他

- ※ 法人としては、松山市の地域サロンの参加、ピアサポート事業、人権教育推進協議会への参加、各大学、専修学校から実習生の受け入れや講師の派遣など、地域の精神保健福祉関係事業に参加協力しました。
- ※ 感染対策委員会を中心に職員、利用者それぞれに研修を行い、感染症予防と対策について学びました。有事の際に素早く対応できるように備蓄の管理を徹底し、利用者と職員の安心・安全に努めています。
- ※ 虐待を未然に防ぐために、今年度は苦情報告の検討に尽力しました。利用者、職員にアンケートを実施し、その結果を真摯に受け止め、それをもとに研修を行いました。利用者職員ともに虐待について理解を深めることで、利用者自身が声を上げやすい環境整備に努めています。
- ※ 地域の町内会や防災訓練など地域行事に参加し、近隣住民の交流を持つとともに精神保健福祉の理解、啓発に努めました。
- ※ R6年3月に本町センター隣にサロンを開設し、法人内に限らず法人外の当事者の方々にも利用いただきました。ピアサポーターが中心になって開催する日をもうけ、当事者の方にとってより身近に感じられるような居場所作り、孤独や孤立の解消に努めることが出来ました。

2024年度ピアサポート活動について

《法人ピア事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
① 動機づけ支援(長期入院者)	2										1	1	4
② 動機づけ支援(支援者)		3		1		1				3	2		10
③ 話し相手(病院)													0
④ 話し相手(訪問)													0
⑤ 同行支援													0
⑥ 見学対応													0
⑦ その他							10	8	8	8	8	8	50
計	2	3	0	1	0	1	10	8	8	11	11	9	64

【昨年度の取り組み】

10月よりサロン事業の一部を利用者で運営できるようピアサポーターさんに担当を担っていただきました。
最初は「自分たちだけで出来るかな」と不安に思われていたサポーターも今では他の参加者と協力しながら、サロンを楽しんで参加されています。

《松山市地域移行・地域定着支援事業》

【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
① 同行支援													0
② 対面面談													0
③ 訪問支援													0
④ 家族支援								1					1
⑤ 会議の企画・運営・参加								3			10		13
⑥ 地域生活に関する啓発活動の企画・運営・参加								3	4				7
⑦ その他													0
計	0	0	0	0	0	0	0	7	4	0	10	0	21

【昨年度の取り組み】

・登録ピアサポーター 12名

令和6年度当初は松山市によるピアサポート活動の見直し期間となりましたが、11月より再始動され会議や研修への参加を行いました。

真光園のOT活動では11月にグループホーム、12月にB型事業所の見学と病院内での体験発表を行い、ピアサポート活動の大きな目的の一つである長期入院者の退院促進と地域移行に直結する活動を行うことができました。ピアサポーターだけでなく職員も大変有意義な時間を過ごすことができ、あらためて活動の意義を実感することができました。

2025年度事業計画書（案）

2025年4月1日から2026年3月31日まで

NPO法人どんまい

事業実施の方針

法人は、共同生活援助事業所、就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所、自立生活援助事業所の運営を事業の柱として、精神障がい者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障がい者の人権に配慮した街づくり、地域共生社会の実現に向け社会資源の提供をしていくことに寄与したいと考えます。

- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、本町センター「こもれび」「わかば」「ひなた」「いずみ」「みなも」「こだち」6施設で47名の定員とし、引き続き入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。入居されている方が主体的な生活を送れるよう、日常生活の自立支援はもちろん、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を作ります。また、松山市のワンステップ事業を積極的に活用し、社会的入院の方の退院促進を進めていきます。事業所内での研修会を継続し、安定した運営に繋がりたいと思います。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2025年度も引き続き、利用者一人ひとりのニーズに寄り添いながら、自分らしく安心して通所できる場づくりを目指します。工賃向上に向けては、既存の得意先との信頼関係を維持・強化しながら、より効率的で質の高い作業提供を意識した業務の見直しや、新たな作業内容の導入にも取り組んでいきます。利用者が自分に合った作業に取り組めるよう、内職作業をはじめとした多様な作業機会を提供し、それぞれの特性やペースに応じたサポートを行っていきます。また、就労に向けた支援にもこれまで以上に力を入れ、職業準備訓練や面談支援の充実、関係機関との連携を強化することで、利用者の「働きたい」という気持ちに丁寧に応じ、将来につながる支援を行っていきます。どんまいクラブの強みである「幅広い作業の提供」と「安心できる居場所づくり」を活かし、今後も新たな利用者の受け入れに積極的に取り組んでいきます。見学・体験の機会を定期的に設けるほか、地域関係機関への訪問や広報活動も継続し、地域に開かれた事業所としての役割を果たしていきます。どんまいクラブは、今後も職員一人ひとりが専門性の向上を図りながら、利用者とともに歩み、成長し続けられる事業所を目指します。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆつくりクラブは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を途切れることなく提供できるよう感染症や災害への対応を強化し継続したサービス提供ができる環境や取り組みを続けていきます。また、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練をおこない、就労希望者への施設外就労や高齢の利用者、ワンステップ事業の体験者など、幅広いニーズに対応できるよう、きめ細やかな支援や作業環境の整備を行います。弁当配食事業では、グループホームの夕食配食事業（タサボ事業）を継続して取り組み、クオリティの維持、作業工程の効率化を図り、売り上げや工賃向上を目指します。また、まるわかり見学会や挨拶回りをおこない関係機関との連携を図りながら、本人のニーズや特性に合わせたアプローチで、継続的に就労支援を行っていきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、利用者一人ひとりの特性を把握し、専門的な作業でも安心して挑戦できるよう作業環境を整備し、自分らしさを生かして働ける場を提供します。印刷事業においては、得意とする商品をアピールしながら販路の拡大、売上の向上、平均工賃の向上を目指します。関係機関との関係性を大切にしながら連携を密にし、安定した支援が提供できるよう努めます。ステップアップを目指す利用者が持つ幅広いニーズに対応し、希望する道にスムーズに移行できるよう支援します。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさばは、今年度も長期入院から単身生活をされる方、グループホームから単身生活に移行される方々が、地域で安心して暮らせるよう相談援助を充実させます。そのために、職員の知識や技術の向上を図れる仕組みづくりを行います。利用者の方がサービス終了後の生活をイメージしながら、自分の持っている力を発揮できるよう支援を行っていきます。

- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標として、①地域移行定着の推進②相談支援専門員の質の向上③関係機関との連携強化です。今年度も個別のケースを通して、地域の課題に向き合い、誰もが住みやすい社会を目指します。
- 地域移行支援事業・地域定着支援事業においては対象者の方が安心して退院し、地域生活を行っていただけるよう、丁寧なアセスメントの実施、サービスの調整や構築を行いたいと思います。
- また、計画相談では個別ニーズに対応できるよう、適切な相談、援助等に努め、サービス等利用計画の作成と評価を行います。本人の希望を実現できるよう、関係機関と協力していきます。
- ⑦ 私たちはピアサポート事業を通じた地域移行促進を目指し、一人でも多くの方が地域で安心して暮らせるよう活動の普及啓発を行い、不安の解消や自信に繋がるよう努めます。ピアサポーターとの交流会や研修会を行い、当事者と共に学び、スキルアップを図りながら、一人ひとりのより豊かな地域生活につなげていきます。また、他機関とも連携を図り、ピアサポート活動のさらなる充実につとめます。
- ⑧ サロン事業では、一人暮らしに寂しさを感じている方や日中の活動先を探されている方に対してほっとできる居場所づくりを、また長期入院者の地域生活へのイメージづくりを目指し、さろんだぞうを実施してまいります。今年度は参加者の間口を広げ法人内にとどまらず、多くの方々の居場所となるようサロン事業を展開していきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	共同生活援助事業所 どんまいハウス	通年	松山市及び 周辺市町村	32名	精神障がい者 約47名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障がい者 約32名
	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市及び 周辺市町村	7名	精神障がい者 約35名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市及び 周辺市町村	6名	精神障がい者 約40名
	自立生活援助事業所 まいさぼ	通年	松山市及び 周辺市町村	3名	松山圏域にお住いの 精神障がい者
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	通年	松山市及び 周辺市町村	3名	精神障がい者 約120名
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人ピアサポート	通年	松山市及び 周辺市町村	53名+ 全利用者	全職員及び 法人ピアサポーター
	サロン事業 さろんだぞう	通年	松山市及び 周辺市町村	53名	松山圏域にお住いの 精神障がい者
	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他 事業所との交流会、勉強会 など	通年	松山市及び 周辺市町村	53名+ 12名	全職員及び ピアサポーター